

「広報ながくて」平成25年7月号の巻末ページ「いっぱい日記（仮）」に掲載した内容です。

市では、市民のみなさんから、まちづくりへのアイデアや提案を募集しています。いただいたアイデア等は、そのまま全て市長が目を通し、新しいまちづくりに活かしていきます。

【アイデア等の提出は、次の①②いずれかの方法で行うことができます】

① 市内の公共施設に設置してある専用ハガキに記入して郵便ポストに投かんしてください。

専用ハガキ設置場所：市役所、文化の家、福祉の家、中央図書館、杵ヶ池体育館、Nピア、保育園、児童館など29カ所



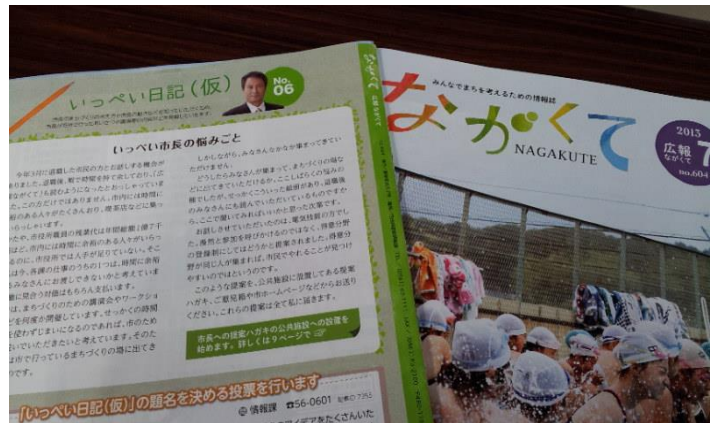
② 市ホームページ「市長の部屋」内「一平さんにひとこと！」にある専用投稿フォームに入力してください。

いっぱい市長の悩みごと

今年3月に退職された市民の方とお話する機会がありました。退職後、暇で時間を持て余しており、「広報ながくて」も読むようになったとおっしゃっていました。この方だけではありません。市内には時間に余裕のある人々がたくさんおり、喫茶店などに集っていらっっしゃいます。

かたや、市役所職員の残業代は年間総額1億7千万円ほど。市内には時間に余裕のある人々がいらっっしゃるのに、市役所では人手が足りていない。そこで、私は今、各課の仕事のうちの一つは、時間に余裕のあるみなさんにお渡しできないかと考えています。労働に見合う対価はもちろん支払います。

市では、まちづくりのための講演会やワークショップなどを何度か開催しています。せっかくの時間や能力を使わずじまいになるのであれば、市のために一肌脱いでいただきたいと考えています。そのため、まずは市で行っているまちづくりの場に出てきてほしいのです。



しかしながら、みなさんなかなか集まってきていただけません。

どうしたらみなさんが集まって、まちづくりの場などに出てきていただけるか。ここしばらくの悩みの種でしたが、せっかくこういった紙面があり、退職後のみなさんにも読んでいただいているものですから、ここで聞いてみればいいのかと思った次第です。

お話しさせていただいたのは、電気技師の方でした。漫然と参加を呼びかけるのではなく、得意分野の登録制にしてはどうかと提案されました。得意分野が同じ人が集まれば、住民でやれることが見つけやすいのではということです。

このような提案を、公共施設に設置してある提案ハガキ、ご意見箱や市ホームページなどからお送りください。これらの提案は全て私に届きます。